

檄

選挙戦折り返し地点

推薦候補者全員の勝利のために、ここでもうひと踏ん張りを！

第49回衆議院選挙は早くも中盤戦に入り、10月31日（日）の投開票日までちょうど折り返し地点を迎えた。推薦候補者213名全員の勝利に向けて、全国各地で奮闘している、すべての構成組織・地方連合会に心より敬意を表する。

前週末までのマスコミ調査によると、与野党で接戦の選挙区が多いとのことである。また、与野党ともに分配や子ども政策を前面に打ち出していることで、争点が見えづらいうからか態度を決めかねている有権者が多数いるとの報道もある。しかし、公正な分配や子ども・子育て支援の充実は、連合が支援する立憲民主党・国民民主党とともにかねてより主張してきた内容であり、「新しい資本主義」も連合が両党と政策協定で共有してきたキーワードである。これらの正統性を愚直に組合員に訴えながら、与党との差異化をはかることが重要である。

新型コロナウイルスの感染確認者数は減少傾向にあるものの、依然、多くの人たちがぐらしの安心を回復できていない。とりわけ非正規雇用の労働者やフリーランス、女性や若者などが困窮の度合いを深めている。特定の属性に偏って影響が大きく出ている以上、必ず構造的な原因があるわけで、可視化された問題を放置し続ける政治、社会でよいのか。それらを変えられるかどうかは今次衆議院選挙にかかっている。

10月24日（日）に投開票が行われた参議院静岡県選挙区補欠選挙では、連合静岡と県下の各組織の懸命な取り組みにより、連合推薦候補者が激戦を制した。この結果を、連携・協力した立憲民主党・国民民主党および連合全体で共有し、大きな弾みとしたい。

連合本部、すべての構成組織・地方連合会が、今一度、今次衆議院選挙の意義を確認し合い、後半戦の闘いに臨む。

残り6日間、推薦候補者全員の勝利のために、もうひと踏ん張りを切に願う！

2021年10月25日

日本労働組合総連合会
会長 芳野 友子